

福島県水環境保全基本計画（改定案）に係る新旧対照表

資料 2 - 2 - 1

No.	頁	行	修正前 (パブリックコメント時)	修正後	理由	提案者
1	2	4	地域	地域生活	適切な表現に修正。	事務局
2	2	7	県民、事業者、市町村などの各主体の参加と連携により	県民、事業者、各種団体及び行政の参加と連携、協働により	「県民、事業者、各種団体及び行政」「参加と連携、協働」を以下統一して使う。	須賀川市
3	2	18	海や川などの水辺地の美化に努めていく必要	水辺地の環境の美化に努めていく必要	適切な表現に修正。	長林委員
4	2	21	海や川などの水辺地を保全する必要	海や川などの水辺地を確保する必要	適切な表現に修正。	事務局
5	2	23		さらに、地球規模での温暖化で引き起こされる洪水や濁水などにより水環境への重大な影響も懸念されています。	温暖化による水環境への影響の記述を追加。	事務局
6	2	30	環境の基本計画である	本県の環境の保全に関する基本的な計画である	適切な表現に修正。	事務局
7	2	32	県民や各種団体の自発的かつ連携、協力により	県民、事業者、各種団体及び行政の参加と連携、協働により	No 2 と同じ	須賀川市
8	3	6	県民、事業者、民間団体及び行政などのそれぞれが自発的かつ連携、協力して	県民、事業者、各種団体及び行政が参加と連携、協働して	No 2 と同じ	須賀川市

福島県水環境保全基本計画（改定案）に係る新旧対照表

No.	頁	行	修正前 (パブリックコメント時)	修正後	理由	提案者
9	3	21	【基本目標】 自然も人もいきいき、未来につなぐ美しい“ふくしま”	【大気、水、土壌等の保全対策の推進】 豊かな水環境を守るとともに、清らかで安全な水を確保します。	水環境保全の具体的な方向性について分かりやすい表現に修正。	事務局
10	5	2	地域に密着した	地域生活に密着した	適切な表現に修正。	事務局
11	5	13	良好な水質、豊富な水量、多様な生物が共生する恵み豊かな水環境を未来へ引き継いでいくことができるように、水環境の保全を図ります。	良好な水質や豊富な水量、多様な生物が共生する恵み豊かな水を未来へ引き継いでいくことができるように、水環境の保全を図ります。	同一文章に「水環境」が2つあり、後段の「水環境」が広い意味で使われていることから、適切な表現に修正。	和田委員他
12	5	22	様々な	さまざまな	ひらがなに統一。	須賀川市
13	5	29	県民、事業者、民間団体の主体的な取組みと、行政を含めた相互の連携と協力により	県民、事業者及び各種団体の主体的な取組みと、行政を含めた相互の連携と協働により	No 2 と同じ。	須賀川市
14	6	10	生活排水対策などの発生源対策を推進し、	水質発生源対策や生活排水対策などを推進し、	発生源には生活排水以外のものがあることを明記した。	事務局
15	6	20	自然の水循環機能を維持、回復し、	健全な水循環を維持、回復し	人工的な水循環も含まれるため、適切な表現に修正。	事務局
16	6	21	水の量	水量	「水量」と統一して使用。	和田委員

福島県水環境保全基本計画（改定案）に係る新旧対照表

No.	頁	行	修正前 (パブリックコメント時)	修正後	理由	提案者
17	6	22	局地的、突発的な豪雨が近年増加しており、市街地での保水、浸透を積極的に進め、地下水かん養や濁流防止を図り、安定した水量を保っていきます。	近年増加している局地的、突発的な豪雨に対処するため、市街地での保水、浸透を積極的に進め、地下水のかん養や洪水防止を図り、安定した水量を保っていきます。	適切な表現に修正。	事務局
18	7	3	人と水との文化や産業などの関わりには長い歴史があり、その中で学んだ水の大切さを次世代に伝えていくことは重要です。	文化や産業における人と水の関わりには長い歴史があり、その中で培われた水の大切さを次世代に伝えていくことは重要です	適切な表現に修正。	事務局
19	7	5	小さい頃からの水とのふれあいや教育などを通し、	幼少期からの水とのふれあいや学びなどを通し、	適切な表現に修正。	事務局
20	7	7	水を活かして地域の活性化を図り、県民や各種団体の自発的かつ連携、協力による	水を活かした地域の活性化を図るため、上流から下流までが一体となった県民、事業者、各種団体及び行政の参加と連携、協働による	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上流から下流までが一体となったを追記。 ・ No2 と同じ。 	須賀川市
21	7	16	水環境に関わる問題は	水環境に関する問題は	適切な表現に修正。	事務局
22	7	18	県と大学などの研究機関、行政が一体となって問題の原因究明に努め、早期に解決するための対応策を検討し実施していきます。	大学などの研究機関及び行政が一体となって問題の原因究明に努め、早期に解決するための対応策や未然防止策を検討し実施していきます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適切な表現に修正。 ・ 未然防止策についても言及。 	事務局

福島県水環境保全基本計画（改定案）に係る新旧対照表

No.	頁	行	修正前 (パブリックコメント時)	修正後	理由	提案者
23	7	21	県民、事業者、民間団体及び行政	県民、事業者、各種団体及び行政	No.2 に同じ。	須賀川市
24	7	21	水環境問題などに関する調査研究を推進し、環境教育・学習、情報収集・提供、調査研究など	水環境問題に協働して取り組み、環境教育・学習や情報収集・提供、調査研究など	適切な表現に修正。	須賀川市
25	9	3	清らかな流れの川	清らかに流れる川	適切な表現に修正。	事務局
26	9	29	多様な生物が共生する、人々が <u>ふれあ</u> う水辺地の保全	多様な生物が共生する、人々が <u>親しむ</u> 水辺地の保全	誤記を修正。 (「人々が親しむ」で了解済みのため)	事務局
27	10	3	水質の保全目標	水質保全の目標	適切な表現に修正。	事務局
28	10	8	水の汚れの状況を判断するのに分かりやすい目安として、身近な水質の目標を設定します。	水の汚れの状況を判断するための分かりやすい目安として水質の目標を設定します。	適切な表現に修正。	事務局
29	11	13	全窒素及び全りんについて、 <u>類型</u> に指定されている水域は、	<u>類型</u> に指定されている水域の全窒素及び全りんについては、	適切な表現に修正。	事務局
30	11	43		(注) 現行の水質環境基準の <u>類型</u> 指定の状況は、福島県水質測定計画・福島県水質年報を参照のこと	注釈を追加。	事務局
31	16	7	の生息が観察できる水質	指標生物の生息が観察できる水質	指標生物を追加。	事務局
32	16	36		「 <u>全国水生生物調査</u> 」(環境省)より	出典を明記。	事務局
33	17	40	50 cm ~ 70 cm	<u>50 cm 以上 70 cm 未満</u>	適切な表現に修正。	事務局

福島県水環境保全基本計画（改定案）に係る新旧対照表

No.	頁	行	修正前 (パブリックコメント時)	修正後	理由	提案者
34	17	42		「水辺のすこやかさ指標」水環境健全性指標 2009 年版（環境省）より	出典を明記。	事務局
35	18	5	河川における	河川や湖沼、海域	湖沼、海域についても目標に含めるため。	事務局
36	18	31		「水辺のすこやかさ指標」水環境健全性指標 2009 年版（環境省）より	出典を明記。	事務局
37	20	9	浄化槽対策の推進	浄化槽整備などの推進	適切な表現に修正。	事務局
38	20	28	汚染土壌の浄化対策の推進	土壌汚染対策の推進	適切な表現に修正。	事務局
39	21	12	人と水や緑、生き物などとのふれあいの創造	人と水や生物などとのふれあいの創造	適切な表現に修正。	和田委員
40	21	37	観光地としての水利用	水環境を活かした観光誘客	適切な表現に修正。	いわき市
41	23	2	本県の同普及率は平成 21 年度で 73% となっています。一方、全国の同普及率は 85% となっています。	本県の普及率は平成 21 年度末で 73%、全国の普及率は 86% となっています。	適切な表現に修正。	事務局
42	23	5	平成 3 年度の同負荷量よりも 1 日あたり 50 t 減少し、7.7 t/日となっています。その内訳の汚濁原因としては	平成 3 年度よりも 1 日あたり 50 t 減少し、7.7 t/日となっています。汚濁原因の内訳は、	適切な表現に修正。	事務局

福島県水環境保全基本計画（改定案）に係る新旧対照表

No.	頁	行	修正前 (パブリックコメント時)	修正後	理由	提案者
43	24	2	工場・事業場の立入検査の状況は図6のとおりであり、排水基準の遵守を指導しています。	工場・事業場に対しては水質汚濁防止法などの公害防止法令により立入検査を実施して排水基準が遵守されるよう監視指導を行っています。 県内の工場・事業場の立入検査件数の状況は図6のとおりです。	立入検査の内容について説明が必要であるため修正。	長林委員
44	24	7	観光地におけるプレジャーボートや水上バイクの利用が増加しており、これに伴う水質汚濁が懸念されています。	観光地におけるプレジャーモーターボートの利用が増加していますが、機械の構造上、エンジンオイルと排ガスが併せて排出されるものがあり、これに伴う水質汚濁が懸念されています。また、利用者のマナーの問題としてごみの投棄などの問題があります。	プレジャーモーターボートが水質汚濁の原因となる理由とごみの投棄を追加。	事務局
45	25	2		化学物質による環境汚染の実態を把握するため、水中に含まれるダイオキシン類などの化学物質についてモニタリング調査を実施しています。	ダイオキシンの内容を追加。	事務局
46	25	4	工業出荷額1億円あたりの化学物質の公共用水域への排出量は	県内の製造品出荷額等1億円あたりの化学物質排出量は	適切な表現に修正。	事務局
47	25	8	化学物質のリスクについて	化学物質のリスク(危険性)について	リスクの意味を追加。	事務局

福島県水環境保全基本計画（改定案）に係る新旧対照表

No.	頁	行	修正前 (パブリックコメント時)	修正後	理由	提案者
48	25	13	化学物質などの流出事故の未然防止	化学物質の流出事故の未然防止など	適切な表現に修正。	事務局
49	25	17	田畑、山林、市街地などの土地利用が変化し、降雨により窒素やりん成分が過剰に含まれている排水が閉鎖性水域に流入し水質汚濁の原因のひとつとなっています。	猪苗代湖北岸域ではヨシの刈取りを実施し、水生植物による水質浄化機能の維持向上を図っています。 ダム貯水池周辺のビオトープ化により貯水池の水質悪化の抑制を図っています。	浄化対策の内容となるように適切な表現に修正。	事務局
50	26	6	継続して水質の向上を目指し取り組む	水質の向上を目指し継続して取り組む	適切な表現に修正。	事務局
51	26	10	間伐などの森林を整備・管理する必要があります。	間伐などにより森林を整備、管理する必要があります。	適切な表現に修正。	パブリックコメント他
52	26	15	全国で34位と	全国で34位、東北で4位	東北の順位を追加。	事務局
53	26	19	処理水の	閉鎖性水域においては処理水の	「閉鎖性水域において」を追加。	事務局
54	26	22	水質保全目標を達成するために、農地・畜産系や山林系の汚濁負荷の対策と併せて、生活排水系による汚濁を低減する対策を進める必要があります。	水質保全目標を達成するために、生活排水系による汚濁を低減する対策を進める必要があります。	生活排水対策の推進の課題を述べる箇所であるため「農地・畜産系や山林系の汚濁負荷の対策と併せて」を削除。	事務局
55	26	29	全ての	該当する地域では全ての	「該当する地域では」を追加。	事務局

福島県水環境保全基本計画（改定案）に係る新旧対照表

No.	頁	行	修正前 (パブリックコメント時)	修正後	理由	提案者
56	26	31		図5（23ページ）に示すとおり農地・畜産からの排水の汚濁負荷割合が高くなっていることから、これらの排水対策に努める必要があります。	課題を追加。	事務局
57	26	33	キャンプ、釣り、プレジャーボートなど水面や水辺地の利用の増加による汚濁が懸念されており対策を検討する必要があります。	キャンプや釣り、プレジャーモーターボートなど水面や水辺地の利用の増加による汚濁が懸念されており、対策を一層強化する必要があります。	・文章を適切な表現に修正。 ・既に対策が実施されているため「検討」ではなく「一層強化」と修正。	須賀川市他
58	26	41		ダイオキシン類などの化学物質のモニタリング調査を引き続き実施していく必要があります。	ダイオキシンの内容を追加。	事務局
59	26	43	化学物質の公共用水域への排出量のなお一層の削減に努める必要があります。	化学物質の公共用水域への排出量を一層削減するよう努める必要があります。	適切な表現に修正。	事務局
60	27	6		新たな水質環境基準項目の設定や基準値の強化に対応する必要があります。	課題を追加。	事務局
61	27	7	水質汚濁に係る水質環境基準の水質類型の新たな指定や見直しが必要です。	水質類型指定の見直しや未指定水域の指定が必要です。	適切な表現に修正。	事務局
62	28	9	浄化槽対策の推進	浄化槽整備などの推進	適切な表現に修正。	事務局

福島県水環境保全基本計画（改定案）に係る新旧対照表

No.	頁	行	修正前 (パブリックコメント時)	修正後	理由	提案者
63	28	28	汚染土壌の浄化対策の推進	土壌汚染対策の推進	適切な表現に修正。	事務局
64	29	9		水源かん養保安林の指定面積（施策の数値目標）	施策に合う目標のため追加。	事務局
65	29	11	環境へ負荷の少ない	<u>環境負荷の少ない</u>	適切な表現に修正。	須賀川市他
66	29	12	水源かん養保安林の指定面積（民有林のみ）	(注2) <u>水源かん養保安林は民有林のみ</u>	(民有林のみ)を上注に合わせ(注2)に修正。	事務局
67	29	15	講じながら水道水源の	<u>講じながら、水道水源の</u>	読点を追加。	須賀川市他
68	29	18	水質状況を定期的に検査を実施し、水源の水質管理を強化します。	<u>水質状況について定期的に検査を実施し、水源の水質管理を行います。</u>	適切な表現に修正。	事務局
69	29	25	森林整備により、水源地域の	<u>森林整備を推進し、水源地域の</u>	適切な表現に修正。	事務局
70	29	37	農業集落排水施設などの整備を進め、更に、これらの下水道などへの接続の向上を進めます。	<u>農業集落排水施設などの整備を進めるとともに、これらの下水道などへの接続率の向上に努めます。</u>	適切な表現に修正。	須賀川市他
71	29	40	窒素やりんなどを除去する必要がある流域においては、高度処理施設の整備を図り、放流水質の一層の向上を図ります。	削除	「窒素やりん」については30頁の高度処理施設の整備の推進に記述しているので削除。	事務局

福島県水環境保全基本計画（改定案）に係る新旧対照表

No.	頁	行	修正前 (パブリックコメント時)	修正後	理由	提案者
72	30	2	下水道などの集合処理区域外の地域に住宅などを新築・改装する場合には、浄化槽の設置について、理解を促します。 既設の単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を一層推進します。	下水道などの集合処理区域外の住宅などで使用している単独処理浄化槽又はくみ取便槽については、合併処理浄化槽への転換を一層推進します。	下水道区域外での水洗化は浄化槽で整備することが県民に浸透していることを踏まえ、2つの文章を統合。	パブリックコメント他
73	30	4		浄化槽整備事業においては、個人設置型だけでなく、市町村設置型の浄化槽設置を促進します。	市町村設置型浄化槽の内容を追加するため修正。	事務局
74	30	6	浄化槽の管理者に対し、浄化槽の適切な維持管理などの徹底を促し、併せて、研修会を開催するなどして、浄化槽法定検査の受検率の向上を図ります。	浄化槽管理者に対する研修会を開催するなどして、法定検査の必要性など浄化槽の適正な維持管理の徹底を促すとともに、指定検査機関に対して検査体制の充実を求めていくことにより、浄化槽法定検査の実施率の向上を図ります。	指定検査機関の検査体制の内容を追加。	パブリックコメント
75	30	10	生活排水対策の推進が特に必要な地域は、	特に生活排水対策の推進が必要な地域は、	適切な表現に修正。	事務局
76	30	15	下水道終末処理施設の整備や適切な	下水道終末処理施設の整備及び適切な	適切な表現に修正。	パブリックコメント他
77	30	18	取り組むよう働きかけます。	取り組むよう普及啓発を行います。	適切な表現に修正。	郡山市

福島県水環境保全基本計画（改定案）に係る新旧対照表

No.	頁	行	修正前 (パブリックコメント時)	修正後	理由	提案者
78	30	32	排水基準が守られるよう	排水基準を遵守するよう	適切な表現に修正。	事務局
79	30	36	地域特性や汚濁負荷の大きい業種については、	地域の実情に応じて、また、 <u>汚濁負荷が大きい業種について</u>	適切な表現に修正。	事務局
80	30	40	適正な維持・管理が守られるよう	適正な維持・管理が <u>図られるよう</u>	適切な表現に修正。	事務局
81	31	2	水環境への負荷軽減技術の定着を促進するエコファーマーの育成を図ります。	<u>エコファーマーの育成により水環境への負荷軽減技術の定着を促進します。</u>	適切な表現に修正。	パブリックコメント
82	31	9	県が締結する工事請負契約書などで汚濁防止のための対策を講ずるよう指示する <u>など建設工事に伴う濁水などの</u>	県が締結する工事請負契約書で汚濁防止のための対策を講ずるよう指示する <u>など、建設工事に伴う濁水や土砂の</u>	適切な表現に修正。	事務局
83	31	13	県内に多く立地している観光・レクリエーション施設などの排水対策を推進します。	県内に多く立地している観光・レクリエーション施設などに対し、 <u>排水基準を遵守するよう監視、指導を行うとともに、排水規制対象外の施設に対しても、適切な排水処理を行うよう指導します。</u>	適切な表現に修正。	パブリックコメント
84	31	21	化学肥料使用量(施策の数値目標)	削除	施策の内容（化学肥料使用量の低減を図る）と目標区分（横ばい傾向）に整合がないため削除。	パブリックコメント
85	31	23	地下水汚染の調査を終了した割合（施策の数値目標）	<u>地下水の汚染対策が完了した地点の割合</u>	適切な表現に修正。	パブリックコメント他

福島県水環境保全基本計画（改定案）に係る新旧対照表

No.	頁	行	修正前 (パブリックコメント時)	修正後	理由	提案者
86	31	33	適正使用と	適正使用など	適切な表現に修正。	パブリックコメント他
87	31	36	汚染が確認された場合には、地下水の汚染原因の究明に努め、	汚染が確認された場合には <u>原因の究明に努め、</u>	適切な表現に修正。	パブリックコメント
88	31	40	汚染土壌の浄化対策の推進	土壌汚染対策の推進	適切な表現に修正。	事務局
89	31	41	汚染土壌の浄化手法についての調査研究を進めるとともに、環境創造資金融資制度などを活用した汚染原因者による汚染土壌の浄化対策を推進します。	土壌汚染の状況に関する情報を収集し、 <u>県民へ提供することによって汚染の拡大防止に資するとともに、環境創造資金融資制度などを活用した汚染原因者による土壌汚染の浄化対策を推進します。</u>	土壌汚染に関する情報提供を追記。	パブリックコメント
90	32	5	県内工業製品出荷額 1 億円あたりの化学物質の公共用水域への排出量	県内の製造品出荷額等 1 億円当りの化学物質排出量	適切な表現に修正。	事務局
91	32	5	化学合成農薬使用量（施策の数値目標）	削除	施策の内容（化学合成農薬の適正使用）と目標区分（横ばい傾向）に整合がないため削除。	パブリックコメント
92	32	11		<u>水中に含まれるダイオキシン類などの化学物質についてモニタリング調査を実施し、化学物質による汚染の未然防止を図ります。</u>	ダイオキシンの内容を追加。	事務局

福島県水環境保全基本計画（改定案）に係る新旧対照表

No.	頁	行	修正前 (パブリックコメント時)	修正後	理由	提案者
93	32	15	リスクコミュニケーションの普及啓発に努め、各事業所の自主的な取組みを促します。	リスクコミュニケーションの普及啓発に努め、各工場・事業場の自主的な取組みを促します。	適切な表現に修正。	事務局
94	32	17	先端技術産業などにおける使用化学物質の把握に努めます。	先端技術産業などにおいて使用する化学物質の把握に努めます。	適切な表現に修正。	須賀川市
95	32	19	水質汚濁事故発生時には、関係機関と連携して被害が拡大しないよう措置を講じます。	水質汚濁事故発生時には、関係機関と連携して被害が拡大しないよう措置を講ずるとともに、原因究明や再発防止対策の取組みを行います。	原因究明や再発防止策に係る記述を追加。	事務局
96	32	29	「耕作放棄地解消面積」、「森林整備面積」(施策の数値目標)	削除	「河川等の浄化対策の推進」の施策に沿わない内容のため削除。	郡山市
97	32	32	湖沼などの閉鎖性水域では、負荷成分や内部生産による水質汚濁の実態を把握するとともに、里地里山の保全再生などの面源負荷の低減対策を推進します。	湖沼などの閉鎖性水域では、水質汚濁成分の流入や光合成による植物体の増加の実態を把握するとともにこれらの対策を検討します。	適切な表現に修正。	事務局
98	32	35	水質保全を図る必要のあるダム貯水池周辺では、ビオトープ化などにより、水域の水質悪化の抑制を推進します。	ダム貯水池周辺では、ビオトープ化などにより、水域の水質悪化の抑制を推進します。	適切な表現に修正。	事務局
99	33	7		(注)水質汚濁防止法政令市を含む全県数である。	政令市を含む県内の状況であることを明示。	事務局

福島県水環境保全基本計画（改定案）に係る新旧対照表

No.	頁	行	修正前 (パブリックコメント時)	修正後	理由	提案者
100	33	9	水質測定計画に基づき水質調査を実施し、公共用水域の監視体制の充実を図ります。	水質測定計画に新たな水質環境基準項目の測定を追加するとともに、必要な測定機器などの計画的な整備・更新を行い監視体制の充実を図ります。	適切な表現に修正。	パブリックコメント
101	33	11	必要に応じて水質汚濁に係る水質環境基準の水域類型の新たな指定や見直しを行うとともに	必要に応じて水域類型指定の見直しや未指定水域の指定を行うとともに	適切な表現に修正。	事務局
102	33	15	水質測定計画に基づき地下水の水質調査を実施し、地下水汚染の監視体制の充実を図ります。	水質測定計画に新たな水質環境基準項目の測定を追加するとともに、必要な測定機器などの計画的な整備・更新を行い監視体制の充実を図ります。	適切な表現に修正。	事務局
103	34	6	971千haで	971千haと	適切な表現に修正。	事務局
104	34	7	安定的な河川流量の確保	安定的に河川流量を確保し	適切な表現に修正。	事務局
105	34	10	森林や農地の持つ水源かん養機能の低下及び河川や湖沼の水量の減少が懸念されていますが、ひとつの例として、夏井川（中神谷測定地点）（測定を始めた平成11年度からのデータ）での流量は、図10のとおり減少傾向にあります。（水量グラフ掲載）	森林や農地の持つ水源かん養機能の低下及び河川や湖沼の水量の減少が懸念されています。 (水量グラフ削除)	水源かん養機能の低下が河川流量との関係だけでは論じられないため削除。	長林委員他

福島県水環境保全基本計画（改定案）に係る新旧対照表

No.	頁	行	修正前 (パブリックコメント時)	修正後	理由	提案者
106	34	14	水の有効利用について考えるきっかけとするため	水の有効利用について考える契機とするため	適切な表現に修正。	事務局
107	34	16		雨水などの再利用や家庭における雨水などの再利用については、全体として定着していない状況にあります。	再利用について他の現状を追加。	長林委員他
108	35	5	地域開発や用途転換の進行、農林業就業者の減少などにより森林や農地の十分な管理が行われず、水源かん養機能などの低下が懸念されています。このため、森林や農地を適正に保全する必要があります。	農林業就業者の減少などにより十分に森林や農地の管理が行われず、水源かん養機能の低下が懸念されています。このため、里地里山である森林や農地を適正に管理する必要があります。	適切な表現に修正。	須賀川市他
109	35	14		雨水や再利用は、水道水を使うよりもコストがかかるものの、循環型社会構築の観点から、県が率先して県有施設の新築・改築の際に導入を図る必要があります。 雨水などの再利用について、その意義や方法を具体的に示した啓発に取り組む必要があります。	再利用に係る課題を追加。	長林委員他
110	36	15	開発に伴う水源かん養機能などの著しい低下を未然に防止します。	大規模な開発に伴う水源かん養機能の著しい低下を未然に防止します。	適切な表現に修正。	事務局
111	36	19	森林の水源かん養機能などの維持向上を図ります。	森林の水源かん養機能の維持向上を図ります。	適切な表現に修正。	事務局

福島県水環境保全基本計画（改定案）に係る新旧対照表

No.	頁	行	修正前 (パブリックコメント時)	修正後	理由	提案者
112	36	21	福島県森林環境税を活用し、水源かん養機能などの維持向上を図ります。	森林環境税の活用による森林整備を実施し、水源かん養機能の維持向上を図ります。	適切な表現に修正。	事務局
113	36	23	休耕田の利活用を通して、農地の水源かん養機能などの向上を図ります。	休耕田に水を張るなど、農地の水源かん養機能などの向上を図ります。	適切な表現に修正。	相馬市
114	36	25	地下水へのかん養を図ります。	地下水のかん養を図ります。	適切な表現に修正。	須賀川市他
115	36	30	雨水、下水処理水などの散水への利用や中水利用の促進など水の循環利用を推進します。	雨水の散水利用などを促進し、水の循環利用を推進します。	下水処理水の散水利用は特に需要がないため削除。	事務局
116	36	35	ダム の 維持管理に必要な電気を賄うため、ダムに発電施設を設けることにより、水の有効活用を推進します。	ダムに発電施設を設けることにより、ダムの維持管理に必要な電気を賄うなど水の有効活用を推進します。	適切な表現に修正。	事務局
117	36	37		身近な水資源の日常生活への活用を促すため、小水力発電など新たな活用について検討します。	小水力発電などの新たな活用を追加。	長林委員他
118	38	3	外来種が繁殖し、生態系に混乱が生じているため、健全な生態系を保全する取組みが必要になってきています。	外来種が侵入・繁殖し生態系に混乱を生じさせるおそれがあるため、健全な生態系を保全する取組みが必要になってきています。	適切な表現に修正。	事務局
119	38	8	生物の重要な生息地となっており、適切な管理のもと保全していく必要があります。	生物の重要な生息地となっており、適切な管理のもとに保全していく必要があります。	適切な表現に修正。	事務局

福島県水環境保全基本計画（改定案）に係る新旧対照表

No.	頁	行	修正前 (パブリックコメント時)	修正後	理由	提案者
120	39	14	人と水や緑、生き物などとのふれあいの創造	人と水や生物などとのふれあいの創造	「生物」に統一。	和田委員
121	39	32	カワウ保護管理計画の達成率	カワウ捕獲上限数に対する捕獲数の比率	適切な表現に修正。	事務局
122	39	37	河川整備などを行う場合は、河川整備計画に基づき環境に配慮した工法を取り入れ、水辺地の多様な生物の生息・生育環境と移動空間の保全に努めます。	河川整備などを行う場合は、環境に配慮した工法を取り入れ、水辺地の多様な生物の生息・生育環境と移動空間の保全に努めます。	河川整備計画に基づかない改修も行うため「河川整備計画に基づき」を削除。	事務局
123	39	44	休耕田や冬季の田んぼに水を張るなど、生物の生息・生育環境の保全に努めます。	休耕田に水を張るなど、生物の生息・生育環境の保全に努めます。	「冬季の田んぼ」を削除。	相馬市
124	40	2	生物多様性の保全を進めるため、「みんなで守る地域の自然」事業などを実施し、県民と連携しながら「生物多様性推進協議会」における検討を進めます。	「ふくしま生物多様性推進計画（仮称）」に基づき、県民や事業者などと連携しながら、生物多様性の保全のための各種取組みを推進します。	適切な表現に修正。	事務局
125	40	4	ブラックバスやブルーギルなどの外来魚やカワウによる被害や生態系かく乱を防ぐため、駆除や違法放流防止対策などの強化を図ります。	ブラックバス・ブルーギルなどの外来魚やカワウによる被害、生態系への影響を防ぐため、駆除や違法放流防止対策などの強化を図ります。	適切な表現に修正。	事務局

福島県水環境保全基本計画（改定案）に係る新旧対照表

No.	頁	行	修正前 (パブリックコメント時)	修正後	理由	提案者
126	40	16	河川改修事業においては、多自然川づくりを基本とし、河川の特徴に合わせ、ヨシなど河川の浄化機能を有する水生植物などが再生できる工法の採用に努めます。	河川整備などを行う場合には、多自然川づくりに積極的に取り組み、各河川の特徴に合わせ、水生植物などが再生できる工法の採用に努めます。	多自然川づくりはヨシだけでなく、他の植物を含み、河川景観を保全・創出するように配慮しているため内容を修正。	事務局
127	40	23	水辺地の水質や景観の保全のため、猪苗代湖水辺環境保全事業などを実施し、清掃美化活動を推進します。	猪苗代湖においては湖岸のヨシの刈取りやごみの撤去などを実施しており、水辺地の水質や景観の保全のため、県内各地でも同様な清掃美化活動を推進します。	適切な表現に修正。	事務局
128	40	26	環境美化活動について啓発を図り、ボランティア団体の協力・協働を得て実施するなど、地域住民主導による河川や海などの美化・浄化対策を推進します。	ボランティア団体の協力・協働を得て環境美化活動について啓発を図るなど、地域住民主導による河川や海などの美化・浄化対策を推進します。	適切な表現に修正。	事務局
129	40	36	人と水や緑、生き物などとのふれあいの創造	人と水や生物などとのふれあいの創造	「生物」に統一。	和田委員
130	40	37	「せせらぎスクール」や「田んぼの学校」などの事業を実施し、日常的に小川や池などの水辺地に行き水や緑、生き物などとふれあうきっかけを作ります。	「せせらぎスクール」や「田んぼの学校」などの事業を契機として、日常的に水辺地に生息する動植物などの自然環境とふれあうことを進めます。	適切な表現に修正。	事務局
131	40	41	川や海などの水辺地を活用します。	川や海などの水辺地を活用し、人と水や生物などとのふれあいを創造します。	適切な表現に修正。	事務局

福島県水環境保全基本計画（改定案）に係る新旧対照表

No.	頁	行	修正前 (パブリックコメント時)	修正後	理由	提案者
132	41	4	地域に根ざした水辺地を活用した関係機関などとの連携による環境教育を進めます。	地域に根ざした水辺地を活用し、関係機関との連携による環境教育を進めます。	適切な表現に修正。	事務局
133	41 41	4 5	湧水など水辺地の保全と利活用に努めます。 小川や池、海など、多様な生物の生息・生育の場であるとともに、地域の暮らしや風景に密着した身近な水辺地の保全や復元を図ります。	小川や湧水、池、海などは、地域の暮らしや風景に密着した身近な水辺地であり、その保全や復元を図っていきます。	適切な表現に修正。	長林委員他
134	41	7	3 - - ウ「地域のシンボルとなる田園風景などの水辺地の景観保全」 ボランティアや水環境保全活動団体、地域住民が水辺地の果たす役割について理解を深め、協力・協働のもと維持・保全活動に取り組む体制づくりを推進し、自分たちの手による愛着のある水辺地づくりを進めます。	3 - - イ「まちづくりと一体となった水辺地などの保全と創造」 同左	内容が「まちづくりと一体となった水辺地などの保全と創造」であるため3 - - ウから3 - - イへ移動	郡山市
135	42	8	流域間におけるの水	流域間における水を	適切な表現に修正。	パブリックコメント他
136	42	14		本県の水生生物調査の延べ参加者数は平成9年度以降13年連続で全国第一位となっています。	本県のせせらぎスクール（水生生物調査）の参加者数についての記述を追加。	パブリックコメント

福島県水環境保全基本計画（改定案）に係る新旧対照表

No.	頁	行	修正前 (パブリックコメント時)	修正後	理由	提案者
137	42	32	地域開発と水環境の保全の調和など水を巡る問題の解決のためには、 <u>上流域と下流域の交流を活性化し、</u> ～	地域開発と水環境の保全の調和など水を巡る問題の解決のためには、 <u>流域全体を一つにした上流域と下流域の交流を活性化し、</u> ～	「流域全体を一つにした」を追加。	須賀川市
138	44	4	上下流連携による源流保全活動事例数（施策の数値目標）	削除	施策の内容（上下流の連携を進める）と目標区分（横ばい傾向）が整合がないため削除。	パブリックコメント
139	44	6	4 - 環境教育の推進 環境アドバイザーなど派遣事業の受講者数（累計）（施策の数値目標）	4 - 水環境保全活動の推進 （同左）	4 - から4 - へ移動	事務局
140	44	28	環境アドバイザー制度の充実を図り、水環境保全活動団体の活動を促進します。	環境アドバイザー制度の活用などにより、水環境保全活動団体の活動を促進します。	適切な表現に修正。	パブリックコメント
141	45	29	県内農林水産物を核とした県産品の高付加価値化とブランド力の向上させ、販路拡大を図ります。	県内農林水産物を核とした県産品の高付加価値化とブランド力の向上により販路拡大を図ります。	適切な表現に修正。	パブリックコメント他
142	45	31	観光地としての水利用	水環境を活かした観光誘客	適切な表現に修正。	いわき市
143	45	32	自然公園や海水・湖水浴場などの景勝地や温泉の地域資源や水に関する文化を全国に情報発信するとともに、河川、湖沼などの良好な水辺地を探勝するエコツーリズムや、水辺地に親しむためのレジャーや遊魚を促進するなど、良好な水環境の活用を図ります。	自然公園に指定されている美しい渓谷、湖沼、海岸線などの景勝地や、豊富で多彩な温泉地などを全国に情報発信するとともに、海水・湖水浴をはじめ、水辺地を探勝するエコツアーを促進し、地域の活性化を図ります。	適切な表現に修正。	パブリックコメント他

福島県水環境保全基本計画（改定案）に係る新旧対照表

No.	頁	行	修正前 (パブリックコメント時)	修正後	理由	提案者
144	45	36	酒造りや名水販売、ラーメンなどの食文化、伝統産業、産業に欠かさない工業用水、水力発電など、本県の清らかな水資源の特性を活用した地場産業の振興を図ります。	酒造りや名水販売、ラーメンなどの食文化、伝統産業など、本県の清らかな水資源の特性を活用した地場産業の振興を図ります。 工業用水、水力発電など豊富な水を活用し、産業の発展を支えます。	文章を2つに分ける。	パブリックコメント他
145	46	9	猪苗代湖の水環境をめぐる調査研究の自発的かつ連携した環境保全活動が実践されています。	民産学官が一体となった猪苗代湖の水環境をめぐる調査研究や自発的かつ連携した環境保全活動が実践されています。	「民産学官が一体となった」を追加。	パブリックコメント他
146	46	19	環境教育・学習、情報収集・提供、調査研究など	環境教育・学習や情報収集・提供、調査研究など	適切な表現に修正。	須賀川市
147	47	4	市街地や農地などの特定できない水質汚濁源についての実態把握とその対策に係る調査を推進します。	市街地や農地などの面的に広がった汚濁源から発生する水質汚濁の負荷についての実態把握とその対策に係る調査を推進します。	適切な表現に修正。	事務局
148	47	9		水に関する意識の向上に資するため、県民意識調査を行います。	「水のきれいさ」に対する満足度が低い現状を受け施策の中で要因分析を追加。	事務局
149	47	13	民間団体、事業者、大学や研究機関、行政などが一体となって推進していきます。	民間団体、事業者、大学や研究機関、行政などが一体となって問題解決に取り組みます。	適切な表現に修正。	須賀川市

福島県水環境保全基本計画（改定案）に係る新旧対照表

No.	頁	行	修正前 (パブリックコメント時)	修正後	理由	提案者
150	49	5	本計画の着実な推進のためには、県民、事業者、市町村などが一体となって、水環境保全のための各種の施策に積極的に取り組んでいくことが必要であり、県民や事業者には、次のような水環境保全活動への主体的な参加が期待されます。 県は、これらの活動を積極的に支援するとともに、県民の意向を反映した施策の推進に努めます。	本計画の着実な推進のためには、 <u>県民や事業者、市町村が一体となって水環境保全のための各種の施策に積極的に取り組んでいくことが必要であり、県民や事業者には、次のような水環境保全活動への主体的な参加が期待されます。</u> 県は、これらの活動を積極的に支援するとともに、 <u>県民や事業者の意向を反映した施策の推進に努めます。</u>	適切な表現に修正。	須賀川市他
151	49	14	また、地域における水生生物の調査や水辺地の生物の生息環境などを見守り、	また、地域における水生生物調査の <u>実施</u> や水辺地の生物の生息環境などを見守るなど	適切な表現に修正。	事務局
152	49	17	環境情報や環境学習機会の提供を事業者、大学や研究機関と連携し推進していきます。	環境情報や環境学習機会の提供を <u>大学や研究機関、事業者と連携し推進</u> していきます。	適切な表現に修正。	須賀川市他
153	49	30	水環境の保全に <u>取り組む</u> ことが大切であり、	水環境の保全に <u>取り組む</u> ことが大切であり、	適切な表現に修正。	須賀川市
154	49	43	また、併せて、	また、	適切な表現に修正。	須賀川市

備考 頁-行は、修正後の行を示す。
提案者欄の事務局は、県関係各課（出先機関を含む）を含む。